

埼玉親善大使レポート

滞在先：オーストラリア メルボルン

期間：2023年4月18日～2023年12月29日

ディーキン大学



私は、日本の大学との提携校であるディーキン大学に交換留学生として8ヶ月間留学しました。留学先大学では、メディアとコミュニケーション学の講義を受講しました。

・埼玉県をPRした事柄について

日本から草加せんべいを持参し留学先で出会った友達に配り、その際に歴史を教えることができました。またオーストラリアのスーパーなどに売っているせんべいとは全くクオリティが違うのでとても喜ばれるとともに、多くの友達に興味を持ってくれました。現地にある寿司屋でアルバイトしていたのですがその際同僚は地元の学生と他の国からの留学生だったため、日本の話にはとても興味を持ってくれたので話しやすかったです。

また、6月にはメルボルンで1年に1度行われるJapan Festivalにもボランティアとして参加させていただきました。そのイベントを通じて多くの方と文化交流をするとともに、埼玉の発信をしようと心がけました。

・現地での生活

現地ではホームステイと大学の寮を経験しました。ルームメイトは世界各地からきた留学生と地元の学生だったため、共同生活という点では文化の違いで大変なこともありました。しかし、文化の違いを受け入れることまた対応することに慣れることができました。また、渡航前には持っていなかった新たな価値観を持つこともできたと思います。

授業以外の活動では、大学のチアダンス部に所属し毎週地元の学生と練習していました。留学生は私だけであったため、溶け込みにくいことも多々ありましたがチームメイトのおかげもあり最後の大会では全国3位という賞をいただくことができました。オーストラリアのダンス大会に出ることができたことは私にとっての一生の思い出であり支えてくれた周りの友達には本当に感謝しています。

アルバイトに関しては、私は短期的な交換留学生だったため雇ってもらえる先を見つけるのが本当に大変でした。オーストラリアでは自分でレジュメを作り、実際に店に行き声をかけてレジュメを渡すのが通常の応募方法でした。運良く雇ってもらうことができ働き始めることができました。働き方や、雰囲気など日本とは違うことばかりで戸惑うこともありま

したが親切な同僚とお客さんに恵まれ、楽しく働くことができたと思います。

私は、日本の大学で学んでいることに関連のあるメディアとコミュニケーション学関連の授業を受講しました。私の留学先大学はかなり留学生も多く、私にとってはとても居心地が良かったと思います。課題やディスカッションなどで苦勞することもありましたが教授のサポートやクラスメイトのおかげで単位も無事にとることができました。日本で学んだ内容をさらに深めることができたと思います。

今回の留学を通して学習面、生活面ともに貴重な経験をすることができたと同時に成長することができたと思います。メルボルンは様々なバックグラウンドを持つ人々が住んでいる地域であったため、留学生に対する周りの人からの親切さに支えられとても充実した毎日を送ることができました。誰も知り合いも友達もない国に1人で行くことは初めてで不安もありましたが、このような自分の人生においてターニングポイントとなる経験ができたことは一生の思い出です。実際に海外に住んだことにより、異文化理解が深まったことはもちろん、理解した上でどのように行動すべきか少しずつですが学ぶことができたと思います。留学を支援してくださり本当にありがとうございました。

